

兵解協だより

兵庫県解体工事業協会

(公)全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11 3F

TEL078-681-7710 FAX 078-599-8874

E-メールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

平成30年1月27日(土)兵庫県解体工事業協会新春懇親会が開催されました。



挨拶をする上原会長



来賓の挨拶をする室井議員

平成30年1月27日(土)PM6:30からANAクラウンプラザホテル神戸「ラベンダーの間」で新春懇親会が開催されました。松本衆議院議員、室井参議院議員、片山参議院議員、松田兵庫県議会議員、石堂姫路市議会議員、兵庫県産業廃棄物協会白石会長らを来賓に招き、51名出席のもと盛大に開催されました。

初めに上原会長が挨拶に立ち「皆様、改めまして新年明けましておめでとうございます。旧年中は、当協会の活動に、多大なご協力を頂き本当に感謝いたしております。本年もよろしく願いいたします。さて、今年の経済産業省の予算の中にも災害時、有事におけるエネルギー供給等防災対策危機対応能力の強化という名目があり防災に対し様々な対策が進められております。当協会も、兵庫県との「防災協定」の締結、兵庫県警と「災害時支援協定」を締結し、今年1月17日に姫路市と「防災協定」を締結いたしました。協会といたしましてこの様に積極的に社会貢献に取り組んでおります。さらに「兵庫県建設産業団体連合会」に加入し、「兵庫県産業廃棄物協会」と相互加入するなど、兵庫県内の防災に対し県内の団体・協会と連携を強化し、対応していく所存です。今年は、戌年です。戌年は芽生えたものが「成長する年」といわれております。当協会も、戌年にあやかり更なる発展を目指し、日々努力してまいります。本日、ここにお集まりの皆様方のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。」と新年の抱負を述べました。

そして、室井参議院議員、片山参議院議員、石堂市議会議員の祝辞の中で一様に「防災協定」の締結等の社会貢献に対する協会の姿勢に「賛辞」を頂きました。

この後、兵庫県産業廃棄物協会の白石会長が、「一昨年の6月に解体工事業が新たに建設業法での独立した業として位置づけられたと聞いておりますが、これは将来予測されます老朽化した建築物、工作物の解体ラッシュ、解体工事業の重要性を見越してのことだと思っております。解体工事業と産業廃棄物処理業は、いずれも建設材料のライフサイクルの川下部門を担っているということで、

兵解協だより

切っても切れない密接な関係がございます。産業廃棄物処理業には役割を終えたコンクリートやアスファルトなどを再生材として蘇生しなければならない役割がございます。皆様方との連携が益々重要になると考えております。

この様な中、解体工事業も産業廃棄物業も今後の循環型社会の中で重要な役割を担うことが期待されておりますが、この産業廃棄物処理という用語につきましては、資源やエネルギーの再生、また、循環を強調するため産業資源循環という言い方に換えていこうという全国的な動きがございます。すでに神奈川県や熊本県など産業資源循環協会と名称変更しているところもございます。我々の全国組織であります。全国産業廃棄物連合会は、4月1日から全国産業資源循環連合会と名称変更されることになっております。兵庫県産業廃棄物協会も時期は遅れますが近々、兵庫県産業資源循環協会とする予定で準備を進めております。今後の人材確保も技術の多様化、高度化に対する対応など解体工事業と産廃処理業は共通の課題が多くございます。今後の循環型社会の構築のためには、より強い連携が必要であると考えております。当協会問い足しましても兵庫県解体工事業協会の今後の発展のため最大限の協力をいたしたいと考えております。どうかよろしく願いいたします」と挨拶を行いました。

引き続き、金顧問が壇上に上がり、「改めまして、新年明けましておめでとうございます。先ほど上原会長が言われましたが、当協会は一昨年に兵庫県、昨年は県警、今年の1月17日に姫路氏と防災協定を結びました、建設業の業種で解体工事業業が新しくでき、今後我々の解体工事業が相当注目されることになると思います。それでは、みなさまの解体現場での無事故とみなさまの健康をお祈りいたしまして乾杯します。」と乾杯の発声を行うと、会は歓談へと移り、出席者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めあいました。歓談の途中、新たに会員とられました、(株)森川建設工業並びに(株)関西テック様が紹介され、森川代表取締役、頃安代表取締役が挨拶に立ちました。



乾杯の発声をする金顧問



中締めを行う高見理事

懇親会はPM8時30分過ぎに高見理事の中締めで、無事終了いたしました。来年の新春懇親会も多くの会員様のご参加をお待ちいたしております。